吉田 南さん応援レポート

大阪フィルハーモニー交響楽団 神戸特別演奏会～協奏曲の夕べ～

2017年7月19日（水） 神戸国際会館こくさいホール

ピアノ・ヴァイオリン・チェロの3つの協奏曲

「大阪フィルハーモニー交響楽団 神戸特別演奏会～協奏曲の夕べ～」。
「三井住友銀行・みなと銀行PRESENTS」と銘打った特別バージョンの演奏会である。
「協奏曲の夕べ」のタイトルどおり、角田鋼亮氏の指揮、大阪フィルハーモニーの管弦楽で、ピアノ・ヴァイオリン・チェロの3つの協奏曲の演奏が予定されている。
吉田さんはヴァイオリン協奏曲のソリストとして出演。また、チェロ協奏曲には財団奨学生OBの宮田大さんの出演が予定されている。

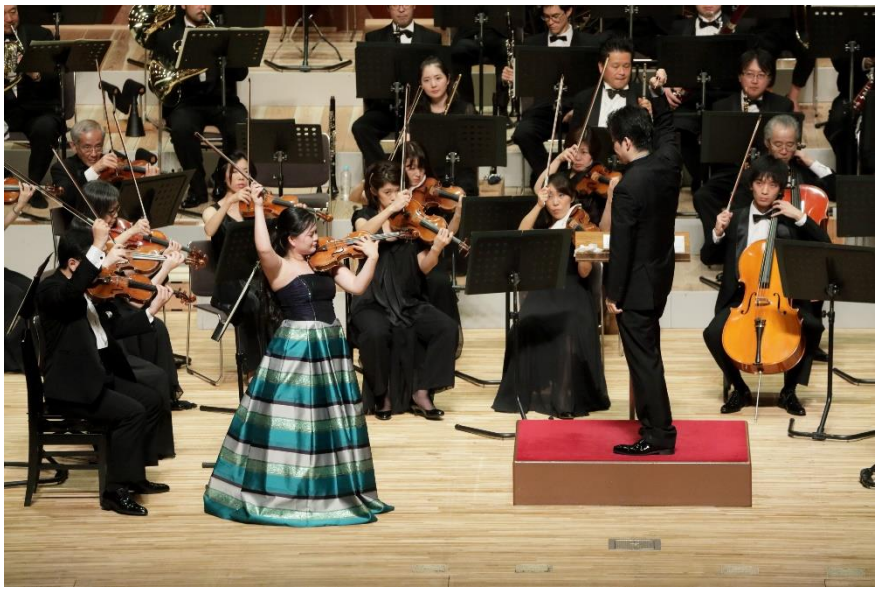
管弦楽の大阪フィルハーモニー交響楽団は、1947年、日本を代表する名指揮者であった朝比奈隆氏と関西経済人の尽力により設立された、日本を代表するオーケストラのひとつである。（「関西交響楽団」の名称で設立され、1960年に現在の大阪フィルハーモニー交響楽団へと名称変更）。

「大フィル」の名で親しまれ、本拠地であるフェスティバルホールでの「定期演奏会」をはじめ、ザ・シンフォニーホールでの「マチネ・シンフォニー」や「ソワレ・シンフォニー」、大阪のメインストリートである御堂筋や中之島の街角で繰り広げる音楽イベント「大阪クラシック」など多彩な活動を続けてきている。また、東京でも毎年、定期演奏会が開催されている。

会場の神戸国際会館は、神戸・三宮の玄関口に立つランドマーク。

開館は1956年。当時最新鋭の設備を備えたコンサートホールであったが、1995年の阪神・淡路大震災で全壊。1999年に震災復興と神戸の発展のシンボルとしてオープンし、国際性・公共性・文化性が融合する芸術文化の拠点として、また都市機能の中心としての役割を担っている。建物の頂点には塔屋があり、震災犠牲者の鎮魂を祈る灯りのモニュメントとされている。
全2,022席のこくさいホールは、3階席までである大きなホール。左右のアール状のボックス席が個性的で美しい。定評ある「大フィルサウンド」とソリストのみなさんの協演を楽しみに着席した。

フィンランドの人々への想いを乗せて



演奏会は岡田将さんのリスト「ピアノ協奏曲第1番 」でスタート。オーケストラの力強い演奏からはじまり、ダイナミックなピアノの音が鳴り響く。終章のラストに向けての盛り上がりに、会場も、ぐっと巻き込まれる。

続いて吉田さんが登場。シベリウスが生まれ育った地であるフィンランドを思い起こさせるような、グリーンが印象的なドレス姿。「・・・この曲は北欧の厳しい寒さのイメージなどと言われますが、以前、半月ほどフィンランドに滞在したときに感じたのは、寒さではなくフィンランドの人々の温かさでした。フィンランドの人々は寂しがり屋で人見知りという印象なのですが、その心の中にはフィンランドの哀しい歴史をふまえて、人に対して優しく温かく接する心があるということ、一見物静かな人々の中に流れる情熱があることを強く感じました」。・・・　フィンランドの方々のイメージや、人々への想いを伝えたいと、ひとつひとつの音を丁寧に、ヴァイオリンを存分に鳴らしていく。

「身体全体を楽器のように使うことを心掛けています」という吉田さん。クリアで芯のある美しい音色をボリューム感もたっぷりに響き渡らせる。テクニックも十分に、オーケストラとも落ち着いて奏で合う堂々の演奏。会場を埋め尽くした皆さまからは何度も何度もカーテンコール。大きな拍手が贈られていた。

ラストの曲、ドヴォルザークのチェロ協奏曲のソリストは宮田大さん。ゆるぎないテクニックとあふれる情感。温かくまろやかなチェロの音を聴かせてくれた。

３人のソリストの素晴らしいパフォーマンス。それぞれの楽器の魅力を堪能した演奏会だった。

写真ご提供：大阪フィルハーモニー交響楽団
©飯島隆氏

聴いてくださる方にメッセージを伝えることのできる演奏家になりたい

指揮者の角田先生と

楽屋で宮田大さんと

終演の後日、吉田さんに話を聞いた。

「・・・当日は思い通りに？」と尋ねると、
「はい!!」と元気な返答。満足のいく演奏ができたそうだ。

ーオーケストラとの協演；
「・・・シベリウスをオケと弾くのは6回目でした。何度演奏しても表現しきれない壮大な曲ですが、前回よりも少しでもステップアップできるよう丁寧に準備しました。
まず、スコア（オーケストラも含め、すべてのパートが並べて書かれてある楽譜）を勉強しました。オケと弾くときには、それぞれの楽器が何をしているのかを知ってから、自分のソロの勉強をするようにしています」
「・・・本番3日前には『吉田さんのシベリウスがどんな感じか知りたい』と指揮者の角田先生が仙川（桐朋学園）まで来てくだり、入念な打ち合わせをいただきました。リハーサルではコンサートマスターの方をはじめ、各トップ奏者の方々にも随分相談に乗っていただき、本番も落ち着いた気分で立ち向かうことができました」
「・・・大フィルのみなさんとの初協演は12歳のときで、今回は4回目の協演でした。毎回少しでも『成長したね』と言っていただけるよう、心を込めて準備し、良い演奏ができるように努めています」

＜演奏会概要＞

◆出演
指揮：角田鋼亮
ピアノ：岡田 将
ヴァイオリン：吉田 南
チェロ：宮田 大
管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団

◆曲目
リスト／ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 S.124
シベリウス／ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47
ドヴォルザーク／チェロ協奏曲 ロ短調 作品104

ー目指す演奏は？；
「・・・ヴァイオリンはとても難しい楽器で、テクニックに気を取られてしまいがちですが、
本当は、音楽を通して伝えなければいけないものがあると感じています。・・・聴いていただく方にメッセージを伝えることのできる演奏家になりたいと思っています」

今年はオーケストラとの協演機会が続く。「・・・この夏は レッスンや語学など、じっくり勉強しようかなと思っています」。・・・『学びの夏休み』とする予定とのこと。
「・・・今までは圧倒的に古典派・ロマン派を弾く機会が多かったのですが、近現代の新しい曲にも挑戦していきたいなと思っています」・・・フィールドもどんどん広がっていく。

演奏会当日の裏話をひとつ。今年から大学生となった吉田さん。大フィルのみなさんも吉田さんのことは小さい頃からご存知で、成長を見守ってくださっている。楽屋では「演奏良かったよ～」という言葉とともに、多くの方々から「おねえさんになったね～」とお声掛けいただいたそうだ。笑いながら教えてくれた。

吉田さん、素敵な演奏でした。
また聴かせてください！

写真：大阪フィルハーモニー交響楽団公式SNS、
吉田南さんSNS、財団事務局撮影写真

【コンサート・プログラム】

〈神戸特別演奏会 ～協奏曲の夕べ～〉

ミュージック・アドヴァイザー：尾高 忠明　指揮者：角田 鋼亮　桂冠指揮者：大植 英次　創立名誉指揮者：朝比奈 隆
首席コンサートマスター：田野倉 雅秋　首席客演コンサートマスター：崔 文洙

本日のコンサートマスター
田野倉 雅秋

第一バイオリン
石塚 海斗
黒瀬 奈々子
三瀬 麻起子
鈴木 玲子
林 佳南子
藤木 愛
山本 彰
力武 千幸
井阪 美恵※
石井 聡子※
奥谷 陽代※
神崎 悠実※
馬渕 清香※

第二バイオリン
浅井 ゆきこ
市野 桂子
久貝 ひかり
小林 亜希子
高木 美恵子
田中 美奈
中西 朋子
橋本 安弘
宮田 英恵
横山 恵理
田川 佐麻里※
宮下 和子※

ヴィオラ
井野辺 大輔
宮井 英樹
上野 修孝
貝元 瑞子
木下 雄介
佐藤 まり子
岩 平
松本 浩子
米田 舞
岡本 名那子※
若松 芳※

チェロ
石田 聖子
綿田 啓嗣
近藤 浩志
庄司 祐
田中 賢治
花崎 薫
林口 貴也
松隈 千代恵
諸岡 拓見

コントラバス
秋田 容子
新 眞二
池内 修二
サイモン・ボレジャエフ
松村 洋介
三好 哲郎
山田 俊介

フルート
井上 登紀
田中 玲奈
野津 臣貴博

オーボエ
浅川 和宏
大島 弥州夫
大森 悠
水村 一編※

クラリネット
金井 信之
日本 拓明
中村 裕美
堀内 吉昌

ファゴット
久住 雅人
熊谷 琢弘
小林 佑太朗
日比野 希美

ホルン
福生 梅子
高橋 智城
藤原 雄一
山本 秀樹
中橋 慶子※

トランペット
秋月 孝之
篠崎 孝
松原 健二

トロンボーン
ロイド・タカモト
吉田 勝博
福田 えりみ※
村井 博之※

テューバ
川浪 浩一

ティンパニ・打楽器
井口 雅子
久保田 香南
中村 裕美
堀内 吉昌

ハープ
平野 花子

（五十音順）
※印：客演奏者

インスペクター
近藤 浩志

サブ・インスペクター
藤本 愛

ライブラリアン
家 恵子

パーソネルマネージャー
福原 喜久男

ステージマネージャー
清水 直行

ステージスタッフ
工藤 博介

理事会

理事長
奥 正之

事務理事
平澤 正英

常任理事
伊藤 雄二郎　福田 聖香
今井 敏之　室町 興紀
中嶋 啓吾　森 詳介
新沼 宏
常務理事
浅沼 吉正
理事
阿部 圭介　西岡 信雄
阿部邸 歩　長谷川 壮
池田 仁　久田 裕彦
大塩 英幸　秀高 誠
小原 一泰　藤門 浩之
斉藤 裕典　増山 裕
細田 七郎　山本 卓彦
中谷 敏昭
監事
時政 幸雄　森下 文夫
顧問
宇野 郁夫　佐藤 義雄
太田 尉江　岡 淳一
小野寺 昭爾　中川 和雄
北岸 松男

事務局

事務局次長　福山 修（演奏事業部長兼務）
演奏事業部　吉田 芳（課長）
久保 明子（ホール・ホント担）
野瀬 遼太郎
石見 万里子
森 有理枝
パロット広報　大西 宏尚（アドバイザー）
橋本 倫行（アドバイザー）
伊藤 勝（アンバサダー）
総務局　浅沼 吉正（局長）
松本 浩英（主任）
奥野 節子
本庄 福男
会館　栄 英之（館長）

〒557-0041 大阪市西成区岸里1丁目1-44　TEL：06(6656)7701-7711(代)／Fax：06(6656)7734　http://www.osaka-phil.com/

三井住友銀行・みなと銀行PRESENTS
大阪フィルハーモニー交響楽団
神戸特別演奏会
～協奏曲の夕べ～
2017年7月19日(水)　19時開演　神戸国際会館 こくさいホール

＜プログラム＞

リスト／ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 S.124(18')
Franz Liszt/ Piano Concerto No.1 in E-flat major, S.124
Ⅰ Allegro maestoso
Ⅱ Quasi adagio
Ⅲ Allegretto vivace
Ⅳ Allegro marziale animato

シベリウス／ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47(32')
Jean Sibelius/ Violin Concerto in D minor, Op.47
Ⅰ Allegro moderato
Ⅱ Adagio di molto
Ⅲ Allegro ma non tanto

休憩 Intermission

ドヴォルザーク／チェロ協奏曲 ロ短調 作品104(42')
Antonín Dvořák / Cello Concerto in B minor, Op.104
Ⅰ Allegro
Ⅱ Adagio ma non troppo
Ⅲ Finale: Allegro moderato

指揮：角田 鋼亮　Conductor：TSUNODA Kosuke
独奏：岡田 尋（ピアノ）　Piano：OKADA Masaru
吉田 南（ヴァイオリン）　Violin：YOSHIDA Minami
宮田 大（チェロ）　Cello：MIYATA Dai
コンサートマスター：田野倉 雅秋　Concertmaster：TANOKURA Masaaki

主催：公益社団法人大阪フィルハーモニー協会
特別協賛：株式会社三井住友銀行　協賛：株式会社みなと銀行　協力：株式会社ドルチェ楽器

□ 携帯電話、アラーム付時計をお持ちのお客様は、演奏中に鳴らないようお確かめください。
□ 演奏途中での入退場、途中のない写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
□ のど飴等は、口をあけるときの音が思いのほか大きく響きますので、演奏中の開封はご遠慮ください。(飴類、菓子類でお困りの方は、ご相談ください。)
□ ゆったりされるとは、ハンカチ等でご持参されていただくようお願いゆ、上げます。
□ 補聴器をされている方は、ハウリングを起こす可能性がありますので、しっかりと装着できているかご確認ください。
□ 赤手は、指揮者が完全に指揮の動作を終えて、音の余韻が完全に消えるまで、お控えくださいますようお願いいたします。

【コンサート・プログラム】

指揮者
角田鋼亮
Kosuke TSUNODA

東京藝術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、女性賞受賞。2006年、第31回ドイツ全日本大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、第44回ラヤン生誕100周年記念の国コンクールでも2位入賞を果たした。2010年、第5回マーラー指揮コンクールでは最終の6人に残った。
これまで共演したオーケストラはコンツェルトハウスオーケストラ・ベルリン、ブランデンブルク交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、群馬交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢など、オペラ、バレエ、ミュージカルの分野でも活躍。新国立劇場、二期会、東京室内歌劇場、東響コーラスでは公演により副指揮者、合唱指揮者を務める。
現在、セントラル愛知交響楽団指揮者、および2016年4月より大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者を務めている。2016年5月、第11回名古屋バンクラブ音楽賞を受賞。いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として、活躍の場を拡げている。

©大野隆介

管弦楽
大阪フィルハーモニー交響楽団
OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

1947年「関西交響楽団」という名称で発足。1960年に現在の名称となり、創立から2001年までの55年間、朝比奈隆が常任指揮者・音楽総監督を務めた。その後、2003～2011年まで大植英次が音楽監督、2014～2016年まで井上道義が音楽指揮者を務め、尾高忠明が2017年4月よりミュージック・アドヴァイザー、2018年4月に音楽監督に就任予定。2016年に指揮者に就任した角田鋼亮と2人の指揮者体制となる。演奏活動は本拠地であるフェスティバルホールでの「定期演奏会」(年10回、毎回2公演開催)をはじめ、ザ・シンフォニーホールにて平日昼に開催している「マチネ・シンフォニー」や平日夜の「ソワレ・シンフォニー」、大阪のメインストリートである御堂筋や中之島の街角で繰り広げる音楽イベント「大阪クラシック」など多岐な活動を行っている。その他、全国各地でも文化振興に貢献しており、海外では数回にわたるヨーロッパ、カナダ、アメリカ、韓国、台湾での演奏旅行において絶賛を博した。【公式ホームページ】http://www.osaka-phil.com/

ピアノ
岡田　将 Masaru OKADA

福岡県出身。全日本学生音楽コンクール全国大会・中学校の部で第一位受賞。1992年第61回日本音楽コンクール第一位、併せて野村賞、ミーナカミチ賞を受賞。桐朋女子高等学校音楽科を首席卒業し、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院に留学、続いて1995年ベルリン国立芸術大学に留学し研鑽を積んだ。1997年アルトゥール・シュナーベルコンクール第一位とスタインウェイ賞を受賞。1999年にはオランダの第5回リスト国際ピアノコンクールで日本人として初めて優勝し、ドイツ国内市中心にヨーロッパ主要都市やNYでリサイタルを開催。ゾルタン・コチシュ指揮ハンガリー国立管弦楽団と共演、圧倒的なスケール感と緻密な構成力が高い評価を得、大きな反響を呼んだ。2004年、オール・リストによるデビューCDをリリース。2002年第12回出光賞受賞、2003年第29回日本ショパン協会賞受賞、2007年にベルリンより帰国し、現在、神戸女学院大学准教授。2011年オール・リスト3回シリーズ、2013年バッハ&バルティータ全6曲を一晩で演奏、2014年から3年間にわたるベートーヴェン:ピアノソナタ全32曲シリーズ(全90回)を開催するなど、意欲的なシリーズが大きな話題となっている。
http://masaru-okada.jimdo.com/

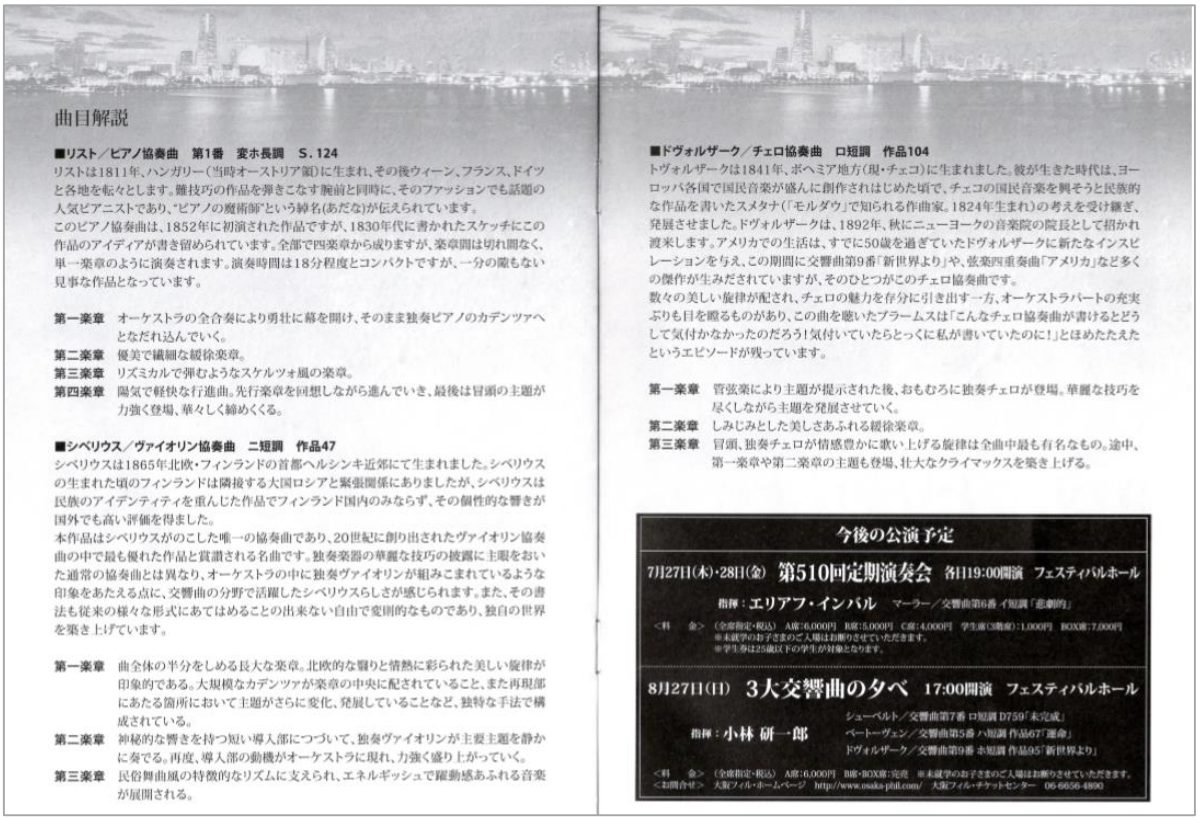
ヴァイオリン
吉田　南 Minami YOSHIDA

奈良県出身。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース全額奨学特待生。2010・2012年「第64・66回全日本学生音楽コンクール」小・中学校の部第1位。2014年「第83回日本音楽コンクール」第1位、鷹沢賞ほか受賞。2015年「シベリウス国際コンクール」最年少入賞。2016年「モントリオール国際音楽コンクール」最年少第3位。ヘルシンキフィル・フィンランド放送響・モントリオール響のほか、国内では3度の大阪フィル、京都市響・東京響・東京フィル・東京都響・神奈川フィル等協演多数。(公財)2014・2015年ロームMP奨学生を経て、2017年より(公財)江副記念財団奨学生。2016年には(公財)岩谷時子音楽文化振興財団「岩谷時子賞Foundation for Youth」、(財)桐朋学園アリオン江戸音楽振興基金「アリオン音楽賞」を受賞。

©吉田義治

チェロ
宮田　大 Dai MIYATA

宇都宮市出身。3歳よりチェロを始める。幼少よりその才能は注目をあつめ、第74回日本音楽コンクールを含む出場するすべてのコンクールに第1位入賞する。第9回ロストロポーヴィチ国際チェロコンクール(パリ)で日本人として初優勝。桐朋学園音楽部門特待生。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを首席で卒業。2009年にジュネーヴ音楽院卒業。2013年にクロンベルク・アカデミー修了。第60回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第20回出光音楽賞、第13回ホテルオークラ音楽賞受賞。
チェロを倉田澄子、フランス・ヘルメルソンの各氏に師事。
マスメディアへの出演も多く、「小澤征爾さんと音楽で語った日々～チェリスト・宮田大・25歳～」(芸術祭参加作品)、最近では「報道ステーション」「日経スペシャル 超投資～樹竹徹十郎　文楽の深淵」「蜜子の部屋」が話題を集めた。
使用楽器は1698年製ストラディヴァリウス"Chalmondeley"(上野製薬株式会社貸与)
オフィシャルサイト:http://www.daimiyata.com/



曲目解説

■リスト／ピアノ協奏曲　第1番　変ホ長調　S.124
リストは1811年、ハンガリー(当時オーストリア領)に生まれ、その後ウィーン、フランス、ドイツと各地を転々とします。難技巧の作品を弾きこなす腕前と、そのファッションでも話題の人気ピアニストであり、"ピアノの魔術師"という綽名(あだな)が伝えられています。
このピアノ協奏曲は、1852年に初演された作品ですが、1830年代に書かれたスケッチにこの作品のアイディアが書き留められています。全部で四楽章から成りますが、楽章間は切れ間なく、単一楽章のように演奏されます。演奏時間は18分程度とコンパクトですが、一分の隙もない見事な作品となっています。

第一楽章　オーケストラの全合奏により勇壮に幕を開け、そのまま独奏ピアノのカデンツァへとなだれ込んでいく。
第二楽章　優美で繊細な緩徐楽章。
第三楽章　リズミカルで弾むようなスケルツォ風の楽章。
第四楽章　陽気で軽快な行進曲。先行楽章を回想しながら進んでいき、最後は冒頭の主題が力強く登場、華々しく締めくくる。

■シベリウス／ヴァイオリン協奏曲　ニ短調　作品47
シベリウスは1865年北欧・フィンランドの首都ヘルシンキ近郊にて生まれました。シベリウスの生まれた頃のフィンランドは隣接する大国ロシアと緊張関係にありましたが、シベリウスは民族のアイデンティティを重んじた作品でフィンランド国内のみならず、その個性的な響きが国外でも高い評価を得ました。
本作品はシベリウスがのこした唯一の協奏曲であり、20世紀に創り出されたヴァイオリン協奏曲の中で最も優れた作品と賞讃される名曲です。独奏楽器の華麗な技巧の披露に主眼をおいた通常の協奏曲とは異なり、オーケストラの中に独奏ヴァイオリンが組みこまれているような印象をあたえる点に、交響曲の分野で活躍したシベリウスらしさが感じられます。また、その書法も従来の様々な形式にあてはめることの出来ない自由で変則的なものであり、独自の世界を築き上げています。

第一楽章　曲全体の半分をしめる長大な楽章。北欧的な翳りと情熱に彩られた美しい旋律が印象的である。大規模なカデンツァが楽章の中央に配されていること、また再現部にあたる箇所において主題がさらに変化、発展していることなど、独特な手法で構成されている。
第二楽章　神秘的な響きを持つ短い導入部につづいて、独奏ヴァイオリンが主要主題を静かに奏でる。再度、導入部の動機がオーケストラに現れ、力強く盛り上がっていく。
第三楽章　民俗舞曲風の特徴的なリズムに支えられ、エネルギッシュで躍動感あふれる音楽が展開される。

■ドヴォルザーク／チェロ協奏曲　ロ短調　作品104
トヴォルザークは1841年、ボヘミア地方(現・チェコ)に生まれました。彼が生きた時代は、ヨーロッパ各国で国民音楽が盛んに創作されはじめた頃で、チェコの国民音楽を興そうと民族的な作品を書いたスメタナ(「モルダウ」で知られる作曲家。1824年生まれ)の考えを受け継ぎ、発展させました。ドヴォルザークは、1892年、秋にニューヨークの音楽院の院長として招かれ渡米します。アメリカでの生活は、すでに50歳を過ぎていたドヴォルザークに新たなインスピレーションを与え、この期間に交響曲第9番「新世界より」や、弦楽四重奏曲「アメリカ」など多くの傑作が生みだされていますが、そのひとつがこのチェロ協奏曲です。
数々の美しい旋律が配され、チェロの魅力を存分に引き出す一方、オーケストラパートの充実ぶりも目を瞠るものがあり、この曲を聴いたブラームスは「こんなチェロ協奏曲が書けるとどうして気付かなかったのだろう！気付いていたらとっくに私が書いていたのに！」とほめたたえたというエピソードが残っています。

第一楽章　管弦楽により主題が提示された後、おもむろに独奏チェロが登場。華麗な技巧を尽くしながら主題を発展させていく。
第二楽章　しみじみとした美しさあふれる緩徐楽章。
第三楽章　冒頭、独奏チェロが情感豊かに歌い上げる旋律は全曲中最も有名なもの。途中、第一楽章や第二楽章の主題も登場、壮大なクライマックスを築き上げる。

今後の公演 予定

7月27日(木)・28日(金)　**第510回定期演奏会**　各日19:00開演　フェスティバルホール
指揮：エリアフ・インバル　マーラー／交響曲第6番 イ短調「悲劇的」
<料　金>　(全席指定・税込)　A席:6,000円　B席:5,000円　C席:4,000円　学生席(S席席):1,000円　BOX席:7,000円
※未就学のお子さまのご入場はお断りさせていただきます。
※学生券は25歳以下の学生が対象となります。

8月27日(日)　**3大交響曲の夕べ**　17:00開演　フェスティバルホール
指揮：小林 研一郎
シューベルト／交響曲第7番 ロ短調 D759「未完成」
ベートーヴェン／交響曲第5番 ハ短調 作品67「運命」
ドヴォルザーク／交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界より」
<料　金>　(全席指定・税込)　A席:6,000円　B席・BOX席:完売　※未就学のお子さまのご入場はお断りさせていただきます。
<お問合せ>　大阪フィル・ホームページ　http://www.osaka-phil.com/　大阪フィル・チケットセンター　06-6656-4890